



子どもに人気のスーパースポーツくい
(昨年の夏祭り)

桔梗が丘地区の夏祭り

熱〜く! 寄ってだあこ



8月23日(土)盛大に開催



ききょう通信

2008年7月

発行 桔梗が丘まちづくり委員会
 連絡先 桔梗が丘公民館内
 TEL 65-1206
 FAX 65-1206
 Eメール kikyou-ko@emachi-nabari.jp

5464 世帯・14096人
 (6月1日現在)

リレーまちへの思い

桔梗が丘を離れて18年になりました。最近感じるのが子どもの声。こないだも公園の側を通った

桔梗が丘出身の落語家
 桂 三弥さん

子どもの笑いを

が、誰一人いなかった。まあ、雨だったからだろうけど。僕がよく公園で遊んだものだ。そこでデートしている高校生のカップルを冷やかした。冗談はさておき、子どもの笑い声が聞けるにぎやかで安心できる街であって欲しいと願っています。

スタッフ募集

「ききょう通信」の取材・編集、ホームページを管理・運営に携わる広報部会員を募集予定です。通信は隔月をめぐりに発行しています。初心者でも広報編集に興味があり、団体やサークルで会報などを担う方を歓迎します。年齢・性別は問いません。気軽に参加してください。連絡先は、桔梗が丘まちづくり委員会事務局(TEL 65・1206)。

模擬店、盆踊り、福引き……

暑気を吹き飛ばす桔梗が丘の夏祭りは、8月23日(土)午後1時半から三番町の商店街道路を中心に行なわれる。同まちづくり委員会の自治振興部(廣岡貞之部会長)を軸に夏祭り実行委員会を組織、5年前から趣向を凝らして開催している。

今年も会場はバス通りは、歩行者天国とし、地域住民にくつろいでもらう。なお、雨天のときは翌24日に延期する。

実行委員会によると、当日はオープニングセレモニーとして県立名張桔梗丘高校吹奏楽部がパレード。続いて、よ

子、ヨーヨー釣り、みたらし団子といった模擬店に加え、商店街アーケード及び歩道部分をフリーマーケットゾーンとして祭りムードを盛り上げる。このほか子ども向けのバルーンアートイベント、午後7時30分ごろからは区民・

桔梗が丘まちづくり委員会は、名張市から引き継いだスクールガードへの財源措置を今年度限りで廃止する。地

区内の桔梗が丘、桔梗が丘東、桔梗が丘南の3小学校長とも協議・了承された。

現行のスクールガードは桔梗が丘と桔梗が丘東の両小学校で実施(桔梗が丘南小はボランティアが対応)。今年度は市交付金(680万円)から登下校児童の安全対策費として120万円計上している。ところが同委員会総務部(林田成吉部会長)は、スクールガードは基本的にPTAの責任で対応すべきだ▽制度を継続する財源は税金からの交付金を充てており、予算比率も全体の17・64%と高い。また、理論的に交付金の目的に反している――などの理由から負担の見直しを検討してきた。

なお、同委員会はPTA主導で現行の制度を維持する。一つの方法として、保護者が児童1人につき年間10000〜20000円を負担する。さらに委員会側がボランティア団体に1人10000円程度の助成金を出すことで側面から支援することなどを提案している。

桔梗が丘の夏祭り

桔梗が丘の夏祭りが商店街に場所を移して行われるようになって、5回月の夏がやってきました。祭りのスタッフとして、夏の夜のひとときを多くの皆さんと共に過ごせることを楽しみに、準備を進めています。

桔梗が丘の夏祭りは「住民参加に

まちづくり委員会自治振興部会長 廣岡 貞之さん

住民参加の手作り縁日

よる手作りの縁日」が特徴です。住民の皆さんが参加することで、誰もが楽しめる祭りを目指してき

ました。今年も、参加した人の周りに祭りの輪が広がる、そんな夏祭りができたらいなと思います。

私たち実行委員会が準備できるのは、祭りの枠組み

だけです。皆さんが楽しんで参加していただくことにより、中身が充実していきます。当日スタッフとしてお手伝いをお願いする方、屋台やフリーマーケットの出店によって参加される方、盆踊りやイベントでの出演を楽しみにしておられる方、そして夕涼みを兼ねて来ていただく方――など、参加の仕方はさまざまですが、それぞれの方が

まつりの盛り上げに携わる主役です。

「まつり」と「ちく」の言葉を組み合わせれば「まもつちく」になります。まちづくりは、この夏祭りのように多くの方々の参加によって実現していくものではないかと考えます。桔梗が丘地区のまちづくりの一端をこの夏祭りが担うことを願って、皆さんと準備を進めていきたいと思えます。

桔梗が丘の夏の夜を彩っていたくよう、皆さんのお越しをお待ちしています。

名張市の新地域自治システムとは ①

都市内分権を見据えた新しい地域自治システムの策定が名張市の手で進められている。従来の区長制度、自治会、まちづくり委員会（協議会）、ゆめづくり地域予算制度などの仕組みを抜本的に見直し、住民が主役の一地域づくり委員

どう変わる
まちづくり策

区長制度の改革



今後どうなるのか(今年5月の区長会議)

名張市の区長制度は1956(昭和31)年に設置された組織。

組織・委託料も一本化

「梅雨」休みの6月15日、桔梗が丘南小学校グラウンドで「児童と保護者が、一緒に遊ぶグラウンドゴルフレクリエーション(輪投げ)」の催しがあった。写真。

親子がゴルフ交流

桔梗パトロール会

「梅雨」休みの6月15日、桔梗が丘南小学校グラウンドで「児童と保護者が、一緒に遊ぶグラウンドゴルフレクリエーション(輪投げ)」の催しがあった。写真。

登下校児童の交通安全・防犯活動に取り組む桔梗が丘南地区のボランティア団体、桔梗安

地域が推薦し、市長が委嘱、行政からの連絡事項を住民に伝える。併せて地域の要望を調整・意見の集約といった役割を担っている。

全パトロール会(世話人、林田成吾・南第二区長)が、親子が屋外で一緒に楽しみ、交流を図ろうと初めて企画、子どもと保護者、世話人ら約60人が参加した。

林田区長のあいさつ、競技ルールなどの説明に続いてラジオ体操で体をほぐした後、参加者は1〜8番の各ホールからショットを開始。各ホールで「ホールインワン

だ」という歓声が出始める。声は和気あいあいとグラウンド内は和気あいあいのムード。ゴルフのあとはレクリエーションでも親睦を深めた。

ナイスショット!



現在、市内14地区の区長は164人。市は区長の行政事務や区長会運営などの委託料を支出している。因みに、平成18年の支出実績は4962万円(年間)。

ところが、設置から半世紀が経過し、同制度が地域住民の信頼を受け難く定着している。半面、区長への過大な業務負担・高齢化に加えて委託費や地域づくり委員会に支出される交付金とのかわり、組織的にも同委員会・自治会・区長制度の3層構造になる地区もあり住民には分かりにくくなっていた。

今回、市が提案するシステムの

骨子の一つが「一市区長設置規則」の廃止。これは区長の委嘱及び区長への行政事務委託、区長幹事制度を廃止し、行政からの区長幹事の付帯職や区長への委員依頼も廃止。区長幹事会と地域づくり協議会を一本化する。法的な同意・承諾等の委託事務は別途担い手を選定するが、基礎的コミュニティの代表者に依頼するとしている。

これによって、区長委託料約4

生き生き 健やかに

～「桔梗が丘地区まちの保健室」から～

今回は、秋季に、皆様にご注意いただきたいことをお知らせします。まず第一に、食中毒が心配な時期です。予防の基本は、細菌をつけない▽増やさない▽加熱処理をすることの3つです。(卵など)生の食品に注意し、冷蔵庫を過信しないようにしてください。調理の前には手を洗いましょう。また、食器、ふきん、まな板、包丁、スポンジなどは清潔にし、食べ物には火を通しましょう。もう一つ、夏に気をつけてほしいのは熱中症です。熱中症とは、熱射病(日射病)

夏季の健康管理

のほか、熱けいれん、熱疲労という病気の状態をまとめたいと思います。日射病は、夏の暑い日差しを浴びて歩き回った時などに、体がオーバーヒートして起こります。予防には帽子をかぶりましょう。熱射病は高温多湿の環境で、長時間歩いたり、作業をした時に、大量の汗をかき、体内の塩分や水分が著しく不足して起ります。どちらも水分補給(塩分を含んだ水)が大切です。睡眠を十分に取るなど体に気をつけて、楽しく夏を乗り切ってください。

700万円を廃止。その額の範囲内でゆめづくり委員会に交付金と合わせてお、使途や分配額は各地域の口出となつている。基礎的コミュニティは「一区」自治会などの名称を白巾に名乗ることができ、行政と対

等な自治組織——などとしている。 ※都市内分権地域社会への問題を解決するため、決定の機能や権限を住民団体に委ね、地域が自主的に決定する範囲を広げていこうという地方分権の考え方。



クリーン作戦に100人

6月1日午前9時から実施。写真上。地区内パトロールの住民らを含め約100人が参加。車手や火バサミを手手に持って、桔梗が丘南公民館から主要幹線道路

ききょう俳壇

桔梗が丘で俳句を楽しむ人の作品を紹介します。初回は「夏」

喧騒と思ふは瞬時蝉時雨
吊り橋の揺る、足元螢飛ぶ
指差して星座教はる夏休み
満天の星仰ぎ見る帰省かな
鴨川に迫り出す如し納涼川床

の作品です。季語として「蝉時雨」「螢」「尺蠖(せきかく)」などが見られます。「尺蠖」は、シャクトリ虫のことです。芭蕉は「涼しさを絵に写しけり嵯峨の竹」と

詠んでいます。何と、この「涼しさ」は暑い夏の季語なのです。水原秋桜子(水原姓)は、東京生まれ。俳誌「馬酔木」の主宰者です。

- | | | |
|-------|-----------------|-------|
| 米谷 昂 | 尺を取り終へし尺蠖枝となる | 近藤 善子 |
| 中井 正寛 | 山の雨降るとも見えず草いきれ | 亀田 小蓑 |
| 城山 勝紀 | たわ、とはこのこと釣月軒の枇杷 | 馬場 菜摘 |
| 土井 美尚 | 梅雨晴間シャガールの絵の碧の中 | 朝日 和子 |
| 山本 桜山 | ※滝落ちて群青世界とゞるけり | 水原秋桜子 |

参加者を募集

今月末から「桔、すセミナー」

夏休み期間中、子どもと地域の人たちが世代を超えて交流の輪を広げる「第4回桔、すセミナー」は、今年も7月21日の太鼓、よさこいソーランでスタートする。

まちづくり委員会教育文化部会が開催。セミナーは大鼓などのほか料理・科学・囲碁で、開催日は7月31日・8月7日・同21日・同23日・同28日の6回。8月23日は桔梗夏まつりに参加する。

各セミナーの場所・時間は料理が午前9時半から桔梗が丘南公民館▽科学・囲碁は桔梗が丘東小で同10時から▽よさこいソーランは同東小で午後3時から▽太鼓は同東小で午後5時からとなっております。なお、クリスマスケーキづくりを12月に、また科学教室も開く予定だといふ。